

第2回 地域で支えあうまちづくり懇談会 グループワーク 一覧(H30.7.26 石部まちづくりセンター)

課題	今していること	支持グループ数	難易度	出てきた意見等	こういのがあればいいな	支持グループ数	難易度	出てきた意見等
つながり	・近隣高齢者への日常的な声かけ ・世代別豆講 ・サロン ・友愛訪問	1	普	独居高齢者がどれくらいいるか把握できない。 近隣高齢者への日常的な声かけ。 ひと声かけるだけで交流も生まれ、簡単にできること。	・年齢問わず出入りできるサロン	1	難	誰が来てもいいような、くつろげる場所 若年者・高齢者問わず出入りできるサロン 各自治会での定期訪問 送迎付きサロン、いつでもふらっといける居場所。 場所づくりは困難(場所、スタッフ確認要)
		1	易	豆講…いろんな世代で交流ができる。20年代30～40年代へ広げていく。同級生の男子が多い。 サロン…集会所を開放し12～13名集まっている。集える場や地域の範囲は。サロンに出てこれない人は。もうワンステップアップしてほしい。 町内会サロン…集会所を開放して身近な人を集める。ロコミで広がる。 ネットワーク作り…家族がつきっきりでないので初対面で入っていくのが難しい。	・自治会未加入者をまとめる組織 ・大きなお世話隊	1	難	石部学区自治会未加入者が6割、どうするか？ 草刈り、川掃除が月1回あって煩わしいが顔見知りになる。自治会に入るよう市が言う。
						・気軽に集える居酒屋	1	普
生活支援	・ゴミ出し助け合い ・高齢者が高齢者を支える移動手段	2	易	配食サービス 買い物支援 ゴミ出し助け合い…粗大ゴミを年1回自治会で出している。(谷町:昔から有料)	・日常生活応援サービス	1	普	
		1	難	料金がかかるかどうか。 行先等に制約なく、どこでも行ける移動支援	・デマンド型タクシー・バス	1	難	制約制限の少ない移動手段。 ノンステップバスが少ない。
健康づくり	・百歳体操 ・散歩	1	易	地域のみんなで体を動かす健康づくり・体操。 一人より続けやすい。 いつも来ている人が来ないと安否確認にもつながる。	・行政の温かい支援	1	易	行政の支援もお願い
		1	易	体を動かす。声をかけあう。				
災害時	・安否パトロール		普	独居の把握 個人情報以外で命のバトン…利用度意味あり。保管場所を考える。 民生委員も区も把握している。 安否確認	・災害時の移動、連絡、確認の体制づくり		易	災害が起こった時どこに避難したらよいか？家族でまとめる。 水害の場合は一番高い場所へ。
					・固定した災害時の支援チーム		易	

